

寺崎組新聞

第百四十五号

オクシスで立ちゴケ連発、敬老会も間近かあ？春恒例静岡組会報告

201回組会報告

3月の組はいつもバタバタ。仕事柄年度末のこの時期はMAX繁忙期で旅の支度は前の晩。今年に至ってはそれさえ出来ず出発前のギリギリでした。

さて前日からの雨も夕方方には上がるとの予報に期待し、10時、カッパフル装備にて国1を東へ。パイパスの出口を間違えてスーパーマムにはやや遅刻気味に到着すると、買い物客の邪魔になりつつ駐輪場の屋根の下に集まっていたのは組長、ゴ三、カバ、オガタ、地下。(間違っていたらゴメンナサイ、私の思う歳の順)そして見送り隊の杉山、宮澤。(見送る位なら参加すればいいのに、というのはココロの声)

買い出しを済ませモタモタとパツキングしている、皆さん準備完了で私はビリ。今回は歳の順でもビリ。そうだと57歳にして最年少。何かあったとしても責任を負うのは年長者。気楽な最年少バンザイなのだ。旅のお供もその順でやらせてもらおうと、完成したME06(新)、お下がりME04(新)、いつものXR400、車高短にしたジェベル、新車みたいな黄色いカブ(新)、いつものレイド。食材やらを急いで詰め込んだせいで傾いたザックを背負い一同オクシスへと向かう。

諦めにも似たこの感覚が、人を更に丸くしてゆくのでしょうか。



空模様は小康状態。濡れた砂利道をそれなりに走り、満足感が腹8分目になった頃、前方右手の平らな場所を手を振る組長が見えた。前方の2台はそのまま直進するので、何かの意味があるのかと思いつつそのまま歩いて行く。割とチャレンジングな登り坂なので、本日のメインイベントかと思っただけだが、単に組長に気が付かなかっただけかもしれない。(目も老化か?)その先の行き止まりの泥またでUターンに難儀しましたが、先ほどの広場が今夜のお宿。

夕方には上がるはずの予報はハズレ。宴の話はいつものヤツなのに、記憶力もアレなので少し新鮮味が加わるというお得な状況だ。ウイスキーのハイボール割を好む酒豪も最近はやや抑え気味だし。ホネだけに近頃は団扇では湿った焚き火に勢いはつかず、虚しく空を切った。



翌朝はサツパリと晴れ。斜面での脱糞は体幹の勝負。人並より消化器管が短いので(鈴鹿サーキットでいうと西コースのみ)、人並より回数が多く体力消耗。老犬介護の為にしばらく連泊をこなさなかったが、最近その理由も無くなったのでもう泊お付き合いします。

食事後ウダウダと準備していたら、下の方からビヤンビヤンと2サイクルの音。元気な音の割にはなかなか近づかない。やっとの事で現れたTKM220Rの人がこちらへ。



寺崎組野宿宴会a+ 黄金週間in小武川on2023(前置詞は適当(汗)by組長)

202回組会報告

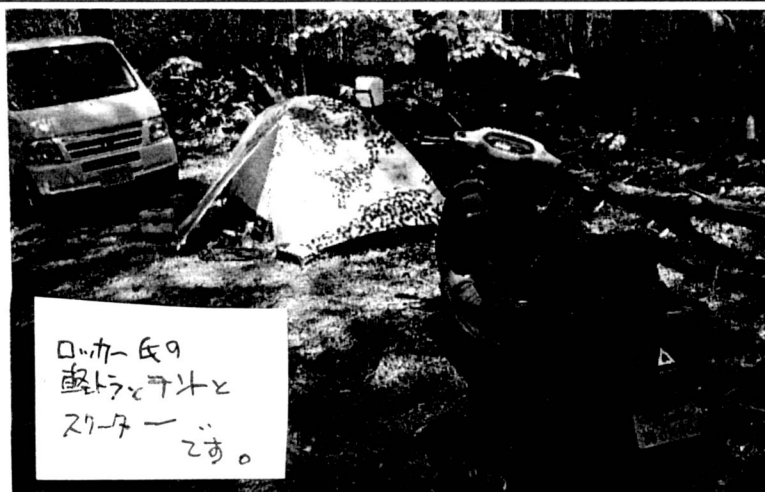
組新聞を作っている身にも関わらず、GWの組会は3日からだと思込んでおり、昨年のGW小武川で素晴らしい色合いに再塗装されたJA11で3日朝に大宮を出発し、東京タワー前の職場によって私物の段ボール箱を1箱を積み込み、下道で小武川へ向かう。双葉のショップピングモールのAPRITAで買い出しして、野宿地に15時過ぎに到着。

すでにいくとロツカーさんがいて、その後ソミさんとミノルさんも到着。「初日なのに参加者これだけ？」とつぶやくと、みんなが、「組会は明日からだよ」と。ここで、やっとならうと気がついたのでした。

いつものように、午後4時解禁で宴会開始。明日は近場の御所山へ登るので、飲み過ぎない程度に飲んで、寝たんだとき。

いつもなら、宴会日程をカレンダーの赤字に合わせると3日4日5日(水木金)にするところだが、仕事の関係上で土日をはかすので、仕事が取れないという某氏の要請により、正式な宴会日程は4日5日6日となったわけだ。というわけで3日から行っても良かったのだが、アルバイト出勤後の昼間は絶対に混むというわけでまだ薄暗い午前3時半に我が愛車走行14万km、この前フロント左のドライブシャフトベアリングを交換したばかり(苦労した)のミニキャブ(軽トラ)にムチを入れた。

と、カーットの前進方向に直進を阻止するかのようカーットを止めているオヤジがいた。何だしようとオヤジの顔を見れば地下鉄氏だった。というわけで宴会キャンピング地向かう。前乗り組が5名。ゴ三浦氏と富山のミノル氏は山登りに出かけていて不在、ロツカー氏も最近手に入れた再生したスクーターの試運転に明けかけていて不在、焚火の前で出迎えてくれたのは品川のでいく庄司氏は、私がスーパーで「プッチと鍋」を探している間に先に着いていた。テントを張れば、飲んで昼飯を食うしもうやることはない。到着後の人間は飲酒解禁前にいくらかははなはだ不明である。



でいくは、去年の年末宴会で、私物がコッヘル小のフタを、結局また忘れて来たとかで、そのキャンプ地に行くと探して来たそうだが無かったという。その代わりに私が忘れて来たゴムヒモ3本を探し出して持って来てくれた。ああ、ありがたや。ちなみにバイクで来ているのはミノル氏のXR250のみ。軽トラ3台はでいくと私とロツカー氏でテン泊。その他は車中泊。そうこうしている間に、デロデロロロという排気音とともに青いビッグオフロードバイク、テネレのサンペイ氏が到着。いかにも重そうで頑丈そうなテネレを眺め回していると、反射的にベータベータのサンパーがやって来た。これで軽トラは4台になった。清水のカンヅメ屋(ではない)見送り冷やかし専門(今回は違います)

記 村松岡

